

草平の灯



令和6年1月10日

No 12

令和6年がスタート

令和6年、今年は元旦に能登半島で大地震が発生し、改めて地震の恐ろしさを知るスタートとなりました。能登半島では、凄まじい揺れと被害、何度も続く余震によって恐怖による日々が続いているということでした。

現地の方の声を聞いていると、すぐに誰かが助けに来てくれるということではなく、食料や水など、自分自身で確保しておくことの大切さがわかります。何度も何度も同じ話をしていますが、今回の地震を通して、改めて地震が起きたときに備えて、何をしておく必要があるのかを各家庭で話し合っ、もしもの時にしっかり行動できるようにしておいてください。必ず全員の命を守ってください。

「まさかこんな大きな地震が起きるとは・・・」「まさかお正月に・・・」など、「まさか」ではなく「いよいよ来たか」といえる準備が最も大切です。

新年がスタートし、いつも通り草平小学校が始まりました。この日常の当たり前に感謝し、困っている人たちに寄り添い、何かできることはないかと考えられる優しい子どもたちに成長していくことを願っています。

年賀状が届きました

年賀状を書く人が少なくなり、特に、若い世代はSNSでの新年のあいさつが主流になってきているようです。書写の時間には、そんな日本の文化に親しもうと、年賀状を書いているクラスもありました。元旦の日にうれしい年賀状が届いていました。とても心温まる年賀状でした。

冬休み中、児童館では凧を作りました。運動場で元気に走り回って凧あげをする姿を見ることができました。元気に走る子どもたちの姿を見て今年も草平小は元気いっぱいだと感じました。

校長講話より



新しい2024年が始まりました。いつもは新しい年になると「おめでとうございます」とわくわくした気分になりますが、今年は大きな地震で1年が始まりました。今、避難生活を送っている人がたくさんいます。小学校は避難所になるので、地震が起きたらここが生活の場所になります。一番困っていることは水と食料です。皆さんの家にはこれだけのものが揃っていますか（実物を見せる）。

2024年、新しい年になって皆さんはどんな目標を立てましたか？校長先生は目標をたてました。

今年の校長先生の目標

- ・あいさつ名人いっぱいの学校にします。（皆さんと一緒に作っていきましょう。今日は「あけましておめでとうございます」と言ってくれた名人がいました）
- ・何か能登半島地震で被災された方の役に立つことをやります。（草平小からも被災された方に元気を届けたいですね）

今年も家庭、地域、学校が一つになって子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。よろしく願いいたします。